

# Q8221

Q8221は、アドバンテクト社の商標です。

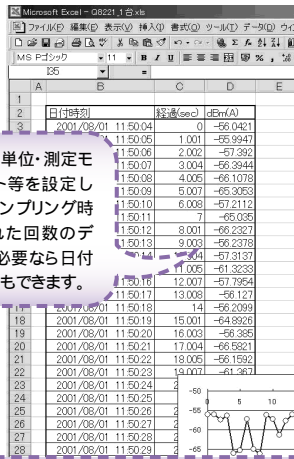
品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-Q8221S-R	ラトックシステム社	60,000 円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/XP Excel2000 Excel2002/2003
W32-Q8221S-C	コンテック社		
W32-Q8221S-N	NI社		
使用できる機種 Q8221			

## 機能



指定された時間間隔でのデータ連続取込を行います。  
 指定された時間間隔で、指定された回数のデータをリアルタイムでExcelシートに取り込みます。  
 最大20万回までのデータの取り込みが可能です。  
 スポット測定モードで製品検査にも使用できます。  
 「SPOT」ボタンを押すごとに、表示値をExcelシートに取り込むことができますから、製品検査にも使用できます。  
 補正波長のスイープ測定が可能です。  
 Excel上に入力した補正波長値により、波長値を自動的に可変しながらの自動測定が可能です。

## 概要

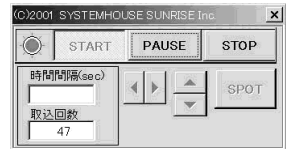


スタートすると、測定単位・測定モード・サンプリングレートを設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定された回数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。  
 測定単位、測定モード、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取込みを開始します。



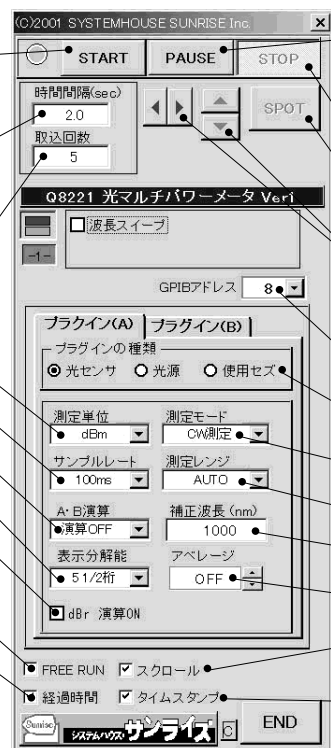
測定中は、データ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。



Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。  
 また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフィックツールで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。  
 本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフィックツールを使用して作図してください。

## 操作説明

- 測定器からデータの取込を開始します。  
「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。  
「SPOT」ボタンが有効になり、「SPOT」をクリックするたびに、データが取込まれます。
- 測定の時間間隔を入力します。空欄またはゼロを入力すると、最速での取込みになります。  
0から3,600秒の範囲で入力します。
- 取込回数を入力します。  
最大20万回まで入力できます。  
取込データがExcelの最下行に到達すると、データは右側の列の先頭から入力されます。
- 測定する単位を設定します。
- サンプリングレートを設定します。
- 演算方法を設定します。
- 測定桁数を設定します。
- チェックをつけると、測定開始時に強制的にdBm演算をONにします。しかし、チェックを外した場合は、現在のdBm演算ONまたはOFFを継承します。
- 測定中測定器を「FREE RUN」に設定します。
- 測定データと同時に、開始からの経過時間もExcelに入力します。



- 連続測定中は、測定を一時中断します。  
中断中は「SPOT」ボタンが有効になりますから、「SPOT」ボタンでスポット測定ができます。再度「PAUSE」ボタンを押すと、連続測定モードに戻ります。  
「PAUSE」を最初に押した後、「START」ボタンを押すと、スポット測定モードになり、「SPOT」ボタンを押すごとに、データを取込みます。
- 測定を強制的に中止します。
- スポット測定モード、または、連続測定中の一時中断時に有効になります。このボタンをクリックするごとに、1回だけデータを取込みます。
- Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動します。  
Excelシート上のカーソルを移動しデータ取込開始位置を決定します。「START」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。
- 測定器側のGP-IBアドレスを設定します。
- 装着されているプラグインの種類を設定します。
- 測定モードを設定します。
- 測定レンジを設定します。
- 補正波長を入力します。
- アベレージ回数を設定します。
- 測定データが、常に画面に見えるようにExcelシートを自動的にスクロールします。
- 測定データと同時に、日付時刻もExcelに入力します。

## 光源プラグインの設定

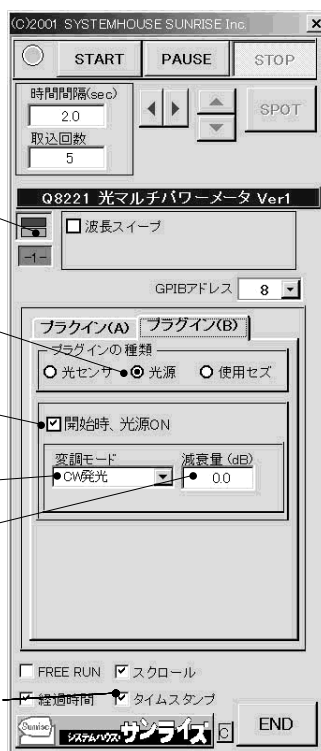
上がA, 下がBのプラグインを表します。  
プラグインが光センサ測定の場合は青色、光源の場合は赤色で表示されます。グレーの場合は、無視されるプラグインを表します。

「光源」を選択します。  
注)もし、プラグインが装着されていても、パソコンの制御対象から外したい場合は「使用せず」を選択してください。

測定開始と共に、光源出力をONにしたい時にチェックを付けます。  
測定開始ボタンを押すと、まず、光源プラグインの設定を行いONにした後、光センサプラグインの設定を行います。

変調モードを設定します。

減衰量を入力します。



## 補正波長スweep測定の方法

波長スweepの測定方法は、「波長スweep」をチェックし、下記条件を全て設定した後、「START」ボタンを押します。  
波長値は、A、B 両チャンネルとも、同じ値がセットされます。

波長変更後、測定までの遅延時間を「秒」で入力します。

Excelシートに入力した波長値の先頭セル位置を設定します。  
設定の方法は、まず、Excelシート上の波長値を入力した先頭セル位置にカーソルを置いて、「取得」ボタンをクリックします。

「波長スweep」をチェックします。

掃引波長	1000	1060	1100	1150	1200	1250	1300
測定結果	経時(sec)	n(A)	n(B)	n(A)	n(B)	n(A)	n(B)
0	4.2503	3.8835	3.4563	3.2378	3.0185	2.8963	2.757
2.003	4.2708	3.9111	3.4867	3.3162	3.0401	2.9153	2.7678
4.006	4.2765	3.9153	3.4878	3.3169	3.0451	2.9206	2.774
6.009	4.2819	3.9175	3.4883	3.3171	3.0464	2.9165	2.7679
8.002	4.2671	3.9038	3.4756	3.3058	3.0345	2.9079	2.7602
10.005	4.2729	3.9168	3.4837	3.3053	3.0297	2.9111	2.7684
12.008	4.2558	3.9017	3.4768	3.315	3.048	2.9348	2.796
14.001	4.3131	3.9439	3.5395	3.3864	3.0586	2.9271	2.7746
16.003	4.2764	3.9101	3.4851	3.3184	3.0485	2.9297	2.7876
18.006	4.2962	3.9274	3.4973	3.3282	3.0473	2.9231	2.777
20.009	4.2907	3.9249	3.4936	3.3192	3.0459	2.923	2.7788
22.002	4.2933	3.9517	3.5399	3.3492	3.0764	2.9622	2.8022
24.005	4.2938	3.9261	3.4987	3.3272	3.0539	2.9304	2.7945
26.008	4.2972	3.9308	3.4991	3.3299	3.0587	2.9333	2.7871
28.001	4.3189	3.9454	3.5057	3.3288	3.0514	2.9319	2.7823
30.004	4.3024	3.9375	3.5133	3.3462	3.074	2.9469	2.7959
32.006	4.3001	3.9302	3.4967	3.3181	3.0357	2.909	2.7587
34.009	4.2539	3.8945	3.4695	3.3004	3.0304	2.9119	2.7672
36.002	4.2625	3.9179	3.5002	3.3302	3.0571	2.9509	2.7934
38.005	4.3121	3.9353	3.4958				
40.008	4.3013	3.9411	3.5173				
42.001	4.317	3.9468	3.5141				
44.004	4.3403	3.9591	3.5289				
46.007	4.276	3.9104	3.4827				
48.001	4.2702	3.8931	3.4675				
50.004	4.2778	3.9166	3.4909				
52.006	4.2744	3.9103	3.4822				
54.009	4.2835	3.9222	3.4932				

